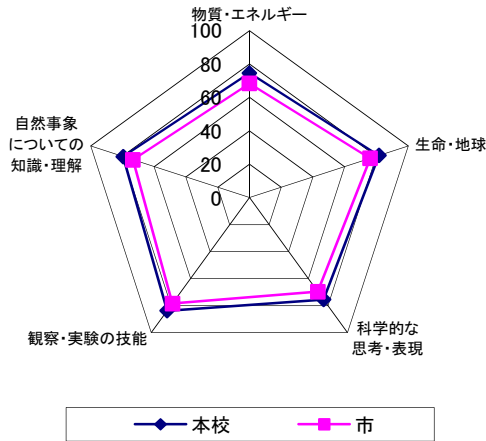


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	74.6	68.3	68.1
	生命・地球	81.6	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	75.5	69.7	68.0
	観察・実験の技能	83.8	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	79.6	73.4	73.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市の平均を6.3ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○「ふりこのきまり」や「電流のはたらき」「物の燃え方」「水溶液の性質」全て市の平均正答率を上回った。 ●溶け残った食塩を全て溶かす方法を問う設問の正答率は市の平均正答率より3.1ポイント低く、実験結果から推察する力が不十分であった。	○実験をする際には、実験結果や数値データから児童が情報を読み取る場面を設定し、実験技能の向上を図る。また、実験の記録、考察結果を児童が自分の言葉でまとめる活動を設定することで、学習内容への理解を深めさせる。
生命・地球	平均正答率は市の平均を5.6ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○「植物のつくりとはたらき」「動物のからだのつくりとはたらき」「生物とかんきょう」全て市の平均正答率を上回った。 ●「魚のたんじょう」では、メダカの成長についての設問で市の平均正答率より3.9ポイント低く、知識の定着が不十分であった。	○本校は市の中心部に立地し、自然環境が豊かとはいえない。だからこそ、観察学習ができる場所を確保し、観察する機会を多く設け、身の回りの事象との関連を意識付けながら学習を深めることができるようにする。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの